

社会科 公開授業・授業研究会

授業者 富岡市立北中学校 杉藤 功 教諭
平成26年10月21日(火) 第2学年



第2学年の「明治維新」の単元において、政策評価書の活用と意見交流の工夫を通して、歴史的事象を多面的・多角的に考察する力を高める学習を行いました。



明治政府の政策評価書

わたしは、
(政策)が _____ にあえた影響に
に着目して考えました。
_____ が _____ (どうなった)
よって、明治政府の(政策)は _____
と思います。

政策の評価書を活用することが、意見交流の根拠となるか、また、それを基にした意見交流が、多面的・多角的に各政策を捉えるのに有効かを授業者と参加者で一緒に協議しました。

【単元】2年歴史的分野『明治維新』

【本時のねらい】

明治政府の各政策についての評価書を生かした意見交換を行うことで、政策の成果や課題について、多面的・多角的に考察できる。

【伸ばしたい資質・能力】

- ・他者の評価について、観点や根拠に着目して、自分の意見と比較して考える力
- ・各政策の成果や課題について、意見交流の内容を関連づけて考える力
- ・意見交流の内容を踏まえて、近代国家の形成に必要な要素について考える力



【手立て】

《指導プランP10 社会の課題と解決に向けて伸ばしたい資質・能力》

自分の考えの具体的な根拠を明確にもち、各政策の成果や課題を比較・関連づけて考えさせるために、観点や根拠、自分の意見を記した政策の評価書を活用し、意見交流を行う。

授業の様子

《指導プランP15 考えさせる特色》

1. 5つの政策と本時の学習課題を確認する。

【学習課題】

明治政府の5つの政策は、新しい国づくりにどのように役立ったのだろうか。



前時までに、「学制」「徴兵令」「地租改正」「殖産興業」「岩倉使節団」について、生徒が選んだ政策の評価書を書きました。

2. 評価した政策について意見交流する。

《実践の手引きP30》
集めた情報を基に考えさせる



各自が書いた政策の評価書を発表し、着目点や根拠について意見交流をしました。



私は、徴兵令が士族や平民に与えた影響について考えました。



授業料を負担しなければならなかったため当初は就学率が低かったが、徐々に高くなっていったので、「学制」はよい政策だったと思います。

3. 政策の成果や課題について話し合う。

《実践の手引きP30》
他者の考えと比較し、見直させる



評価書をもとに、各政策の成果と課題について、意見を出し合い、ホワイトボードにまとめました。

4. 各政策の成果と課題を発表し、分類する。

(1)各政策ごとに成果と課題を発表



地租改正
(成果)
政府の財政が安定し、欧米諸国の近代的な技術を取り入れることができた。

(2)各政策を分類表を基に分け、理由を発表する。

政策の分類表	士族	平民	欧米諸国
	武士	農民・商人	
政治的な政策			
経済的な政策			
外交的な政策			



学制は就学率を上げるという面だけでなく、教育の向上が仕事にも関係があるので、経済的な面にも関係あると思います。



グループの代表が自分たちが調べた政策について、政治・経済・外交など、多面的・多角的な視点でどの位置に分類されるのかをカードで示し、理由を発表しました。

授業の様子

5. 5つの政策の中で、一番重要だと思う政策を選んで、理由を考える。

《指導プランP15 考えさせる特色》



各グループの話し合いや発表をもとに、自分が一番重要だと思う政策を選び、その理由を考えました。



生糸を輸出するなど貿易で利益を得ることで、政府が目指した富国強兵を進めることができたので、「殖産興業」が重要だと思いました。



自分の考えをワークシートに記入し、各政策ごとに、理由を発表しました。

6. 本時の学習をふりかえり、まとめる。

最近の新聞記事を紹介し、現代においても、政治や経済面で様々な政策があることを紹介し、本時をまとめました。



明治時代でも現代でも、政府が目指す国づくりのために様々な政策が行われているんだね。



【授業研究会での意見】

＜よかった点＞

- ・評価書は観点や根拠を明確にする上で有効であった。
- ・意見交流において学び合う姿が見られた。
- ・分類表によって、多面的・多角的に考えることができ、視覚的にも有効であった。

＜改善点＞

- ・まとめで別のテーマ（他の班）と交流するとよい。
- ・評価書と分類表のつながりが明確になるとより考えが広がったのではないかな。
- ・分類表は、多くの視点との関わりを示すことができるよう、形を工夫できるとよい。



【参加者の声】

- ・政策評価書は、他の時代や地理、公民分野でも活用できる可能性があり、ぜひ、取り入れてみたい。
- ・「学び合い」では、活動の中に意味や有効な学習活動がなければならない。何か核となるものをしっかりもたせた上でグループ活動を行わせるようにしていくとよい。
- ・研究会のまとめ方、発表についても参考になった。



【授業者の感想】

政策評価書をもとに成果と課題を比較・関連付けながら考え、まとめるためには、授業で学習内容をきちんと押さえ、しっかり根拠をもたせることが大切であることを実感しました。

今後もこの授業実践を生かして授業改善を進めていきたいと思います。

